



At the heart of the image

Nikon 100th anniversary

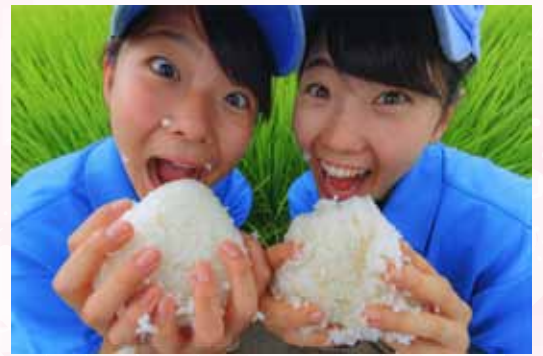
中高生フォトグラファー応援マガジン

TopEye

boys & girls photo magazine

No.296

2018
4-5



顧問の先生・
部員の皆さんで
ぜひ、回覧して
ください!

第25回

先生だけのフォトフォトサロン

TopTEACHER賞

「ミライ☆モンスター」布目 紀佳

[群馬県立富岡実業高等学校 教諭]

ガンバレ写真部!
食事するように、写真を撮ろう!!
日本大学第三中学校・
高等学校(東京都)

テーマ別に撮り方追求!
TopEye デジタル写真教室
第16回「動物園」で
野生動物をバッチリとらえる!

視想講座 VOL.289
「遊び心」をもって失敗を重ねよう

岸本 勉

第66回ニッコールフォトコンテスト
第5部『TopEye & Kids』部門
作品募集開始!

「フォトフォトサロン」受賞作品(佳作以上)の鑑賞や誌面のダウンロードができます。ぜひご覧ください!

ニコトップアイ



Nikon College
ニコカレッジ

Top TEACHER 賞

- 賞品
- ニコンデジタル一眼レフカメラ D3400レンズキット
 - 賞状

「ミライ☆モンスター」 布目 紀佳

群馬県立富岡実業高等学校

- デジタル一眼レフカメラ
- 10-18mm
- Aオート (f/11, 8, 8)
- ISO200, 100, 400

コメントには「農業科の生徒なので…」とありました。手にしているものは彼らが作った農作物だとわかります。農業科という特色ある学科の生徒、作物、それらがつくられた畑、田んぼを背景に撮るという発想は斬新です。演出の面白さがあります。なかなか見たことのない写真です。技術的にも、広角レンズを用いてかなり近づいて撮っているので構図に無駄がなく迫力があります。何より、先生の生徒さんへ対する愛情が感じられます。



受賞の言葉をどうぞ!



第25回 TopTeacher賞 布目 紀佳先生

TopTeacher賞ありがとうございます！藤岡北高校の愛すべき生徒たちを魅力的にお伝えできたでしょうか。3年間笑顔で元気良く学び続けてくれたモデルの生徒たちにも、最高のお礼が出来たと思います。TopEyeにも大変お世話になり、多くのことを学ばせて頂きました。4月から私は藤岡北高校ではなく別の高校に居ます。いつかまたチャレンジできる環境を頂けたら、新しいメンバーと共にTopEyeに挑戦したいと思っています。

※布目先生は今年度、群馬県立藤岡北高等学校から群馬県立富岡実業高等学校へ転任されました。

表紙に大きく載ってるよ!!

入選

- 賞品
- ニコンオリジナルグッズ FLX トートバッグ
 - 賞状



「『卒』イワイの日」松田 浩明

中越高等学校 (新潟県)

- デジタル一眼カメラ (1, 2, 3枚目)、デジタル一眼レフカメラ (4枚目)
- 120mm, 178mm, 22mm, 24mm
- Aオート (f/5.6, 5.6, 5, 3.2) ●ISO6400, 6400, 400, 500

卒業式を撮られています。これまでも卒業式の写真はいくつも拝見してきましたが、多くの場合、先生が卒業していく生徒を捉えたものでした。それに対し、この作品は大きく趣が違います。先生が先生方を撮っています。卒業式の主役は卒業していく生徒であることに変わりはありませんが、先生方にとって特別な日なのだとすることが強く伝わってきます。職員室の場面、グッときます。

「禁断の果実」藪 直隆

帝塚山学院中学校高等学校 (大阪府)

- D5 ●AF-S 24-70mm
- Aオート (f/9) ●ISO100

コメントによると「校内にある丸窓です。…色を出すために背後でストロボを発光させて」撮ったとのこと。写っているのは生徒さんのようです。四角いフレームに円を描き、そこに人物を配置したことにより、構図にまとまりと落ち着きができました。現実と非現実がまじりあっているような不思議な感覚を覚えます。そのあいまいさが魅力です。円の中で女の子が球体を持っていることにより、入れ子のようにも感じられます。



生徒や学校に対するあたたかな眼差し/小林紀晴

毎年、このコンテストの審査で感じることは、先生方の生徒へ向けた目線のあたたかさです。今年も同様でした。TopTeacher賞の布目先生の「ミライ☆モンスター」には、生徒との信頼関係が強く感じられました。生徒との合作、コラボレーション作品といってもいいのではないのでしょうか。何より楽しみながら撮られているのが素敵です。松田先生の「『卒』イワイの日」。高校生は一人も写っていません。だからこそ、先生方にとっても人生の節目であることが静かに伝わってきました。佳作の梶田先生の「昼休み、春」。かつて高校生だったころの自分の姿を重ねているのでしょうか。教壇に立つ普段の先生像とは違う一面が垣間見られたようで、興味深く感じました。

審査員 小林 紀晴

1968年長野県生まれ。1997年「DAYS ASIA」で日本写真協会新人賞、2013年写真展「遠くから来た舟」で第22回林忠彦賞受賞。雑誌、広告、TVCF、小説執筆などボードレスに活動中。東京工芸大学芸術学部写真学科教授。ニッコールクラブ顧問。

佳作

- 賞品
- ND オリジナル リバーシブルポーチプロ
 - 賞状



「声が聞こえる」神野 洋一

大阪府立東百舌鳥高等学校

- デジタル一眼レフカメラ
- 17-40mm (1枚目)、100mm (2, 3枚目)
- Aオート (f/11, f/2.8, f/4)
- ISO200 (3枚とも)

廃校舎でしょうか。タイトルに惹かれて見入りました。タイトルの「声が聞こえる」というのは、かつてこの廃校で学んだ子どもたちの声でしょうか。それとも3枚目の女の子が聞いている誰かの声でしょうか。あるいは、どちらなのかもしれません。ここにはいない人たちと、いまここにいる人の時間が重なり、このタイトルに集約されたのだと解釈しました。



「内包」渡辺 裕一

岐阜県立東濃実業高等学校

- デジタル一眼カメラ
- 5-15mm ●Pオート ●ISOオート

高校生が保育実習の人形を持っています。人形は、人ではないとわかるのですが、本当の赤ちゃんのようにも映ります。光も特徴的です。直射日光によって人形の左側の目が陰となり、強いアクセントとなっています。じっと見ていると、高校生の方が人形のように思え、人形が人間に見えてきます。反転するのは。モノクロで表現したことにより、現実が脱落していく心地良さがあります。



「昼休み、春。」梶田 聡

宮城県涌谷高等学校

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-55mm ●Aオート (f/8) ●ISO100

本当に何気ない光景を撮っていますが、まず頭に浮かんだのは「青春」という言葉でした。ベンチに座っているのは、女の子と男の子です。仲よくお弁当を食べています。興味深いのは、彼らがけっしてお花見をしているわけではないことです。桜が咲いていながら無関心であるかのようなズレ。校庭を大きく入れた撮り方も素敵です。

準佳作

・賞状



「ひとすじ」吉田 允彦
大阪府立生野高等学校



「江ノ電に乗って」石川 順一
神奈川県立瀬谷高等学校



「部活動最終日」近藤 文裕
光ヶ丘女子高等学校(愛知県)



「アリスシンドローム」山口 晴久
大阪府立成城高等学校



「視」井戸 俊博
岐阜県関市立関商工高等学校



「冬至」江田 修一
島根県立大田高等学校



「秋深し」吉住 牧人
愛媛県立今治北高等学校大三島分校



「絆を繋ぐ」月岡 忠
埼玉県立妻沼高等学校



「Halation」長谷川 智洋
広島県立庄原格致高等学校



「ショータイム」伊東 央二
千葉県立小金高等学校

今年度から
名称・ルールが
変わります

「フォトサロン」は「TopEyeフォトコンテスト」へ。

TopEyeの写真コンテスト「フォトサロン」は、次号から新しい名称・ルールでスタートします。皆さん、これからもご応募くださいね!

NEW
1

審査員が2名に。

小林紀晴先生に加えて藤岡亜弥先生を審査員にお迎えし、2名で審査を行っていただきます。



審査員 小林紀晴

1968年長野県生まれ。1997年「DAYS ASIA」で日本写真協会新人賞、2013年写真展「遠くから来た舟」で第22回林忠彦賞受賞。雑誌、広告、TVCF、小説執筆などポータルに活動中。東京工芸大学芸術学部写真学科教授。ニッコールクラブ顧問。



審査員 藤岡亜弥

広島生まれ、日本大学芸術学部写真学科卒業。2007年文化庁派遣海外留学生としてニューヨークに滞在。その後2012年までニューヨークに在住。現在広島にて制作活動を行う。主な作品に「さよならを覚えて」「離愁」「私は眠らない」「川はゆく」がある。「さよならを覚えて」でビジュアルアーツフォトワード、「私は眠らない」で日本写真協会新人賞を受賞。「川はゆく」で2017年第41回伊奈信男賞受賞。2018年林忠彦賞、2018年木村伊兵衛賞受賞。現在広島在住。

NEW
2

応募作品数は1人5作品まで。

コンテスト1回ごとに、応募者1人あたり5作品を上限とします。(組写真も1作品となります) その他、応募規約も新しくなりますので、必ずよくご確認の上ご応募ください。

応募の際の主な注意事項(応募規約から抜粋)

- 作品のサイズは、写真1枚あたり2L判からA4判まで。
- カメラ付携帯電話による作品は審査対象外です。
- 組写真は横一列に並べ、テープなどでつなげてください。
- 応募票は、写真1枚ごとに裏に貼り付けてください。(組写真も、写真の枚数分応募票が必要です)

●最新の応募票を使用し、記載もれがないようにご注意ください。(本年度より記載事項に一部変更があります。)

●応募作品が「二重応募」・「類似作品」にあたらぬが、応募規約をよく読み、顧問の先生と一緒にご確認ください。

新・応募規約を確認!

新しい応募用紙を、今号のみ同封いたします。次回からは、「TopEye」WEBサイトからダウンロードしてご利用ください。

NEW
3

受賞ポイントを一部変更。

入選・佳作・準佳作のウエイトが高くなり、より多くの学校にポイントアップのチャンス。

TopEye賞

受賞ポイント
100ポイント

- 賞状
- ニコンデジタル一眼レフカメラ

準TopEye賞

受賞ポイント
70ポイント

- 賞状
- ニコンコンパクトデジタルカメラまたは他のニコン製品

入選

受賞ポイント
50ポイント

- 賞状
- ニコンオリジナルグッズ

5作品、うち組写真最大2作品

佳作

受賞ポイント
30ポイント

- 賞状
- ニコンダイレクト限定商品

10作品、うち組写真最大3作品

準佳作

受賞ポイント
20ポイント

- 賞状

20作品、うち組写真最大4作品

※全4回に出品された学校には、さらに【皆勤校ポイント 20ポイント】を加算!

応募締切

※当日消印有効です。出来る限り余裕を持ってお送りください。

TopEye フォトコンテスト

- ★第187回(2018年度第1回) 5月10日締切
- ★第188回(2018年度第2回) 9月10日締切
- ★第189回(2018年度第3回) 11月10日締切
- ★第190回(2018年度第4回) 1月10日締切

先生だけのTopEyeフォトコンテスト

★第26回 3月10日締切

宛先

〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富1141-10 「TopEye フォトコンテスト」係

※TopEye 編集部宛先とは異なります。ご注意ください。

毎回応募で大きなチャンス!

2018年度
第187~189回の
受賞ポイントにより

「TopEye全国高校生写真サミット2019」にノミネート!

来年2月に横浜で開催予定。全国レベルの強豪校と腕を競い、交流する大きなステージです!!

「写真サミット」に
ノミネートされる写真部は?

第187~189回の
[受賞ポイント]上位校

生徒さん3名、顧問の先生1名に
ご参加いただく予定です。

●[受賞ポイント]が同点の場合、上位賞の受賞実績などによって決定させていただきます。

2018年度
全4回の合計
ポイントにより

2018年度「TopEyeフォトコンテスト」年度賞が決定!

今年度行われる第187回~第190回フォトコンテストの[受賞ポイント]と[皆勤校ポイント]の[合計ポイント]により、2018年度の「年度賞」を決定します。



合計ポイント最上位の学校

- 賞状/楯
- ニコンデジタル一眼レフカメラ
- エプソンプリンター(予定)



合計ポイント第2位の学校

- 賞状/楯
- ニコンデジタル一眼レフカメラ
- エプソンプリンター(予定)



合計ポイント第3位の学校

- 賞状/楯
- ニコンデジタル一眼レフカメラ
- エプソンプリンター(予定)

●[合計ポイント]が同点の場合、上位賞の受賞実績などによって順位を決定させていただきます。

来年、TopEyeは300号&40周年を迎えます。

中高生フォトグラファー応援マガジン「TopEye」は、1979年1月15日に創刊。ちょうど300号となる2019年2-3月号で、創刊40周年を迎えます。これまでご愛読、応援をくださった学校写真部の皆さんに、厚く御礼申し上げます。今後も、より楽しく、より読みやすい「TopEye」を目指して編集部一同がんばります。どうぞご期待くださいね!

TopEyeWEBサイトをCHECK!!

「TopEye」のWEBサイト、見てくれますか? 「そんなのあったの?」なんて言ってるキミ、スマホで右のQRコードから、今すぐアクセス!

- TopEyeフォトコンテスト 入賞作品(佳作以上)を掲載
- 2007年度からのバックナンバーをPDF配布
- 「TopEye」フォトコンテスト 応募用紙もダウンロード可能
- 「TopEye全国高校生写真サミット」のリンクもあります



www.nikon-image.com/activity/topeye/

ガンバシ 写真部!!

今回は、TopEyeのフォトコンテストに年間毎回ご応募くださっている「皆勤校」からご紹介。東京郊外の高台にある日本大学第三中学校・高等学校は、撮影意欲をシゲキする環境に遊び心、そして熱意が満開! 今後が楽しみな、ワクワクな写真部です!

日本大学第三中学校・高等学校 (東京都)



食事するように、
写真を撮ろう!!

後列左から:加藤くん、堀籠くん、柏木くん、有泉さん、安藤さん、関戸さん、全さん
中列左から:鈴木さん、竹内さん、野崎さん、竹村さん、大橋さん、浅川さん、椎名さん、豊田さん
前列左から:岸さん、坂本さん、丸山さん、鶴田さん、飯山さん、顧問の野口先生

Tシャツは、
岸さんのデザイン!



約40年前の一眼レフカメラ
「ニコンF」が部室に。

すごい!



腕章、Tシャツ、パーカーもつくったよ!

日大第三中・高写真部のモットー

「食事するように
写真を撮ろう!」

- ★毎日1枚以上は撮ろう!
- ★たくさんの作品を観よう!
- ★絵画や歌舞音曲に親しみ感性を磨こう!
- ★季節を意識しよう!
- ★タイトルにこだわろう!

人工物を撮りますね。道ばたの信号機とか文具・壺など

今年度部長の浅川さんは寡黙で明るい感性派!

家の近くをふらっと撮影散歩。

昨年度部長の飯山さんはディズニーオタク!!



タイトルの語彙力強化のため「季節辞典」を常備!!

浅川さん撮影

部員: 25名(高三10名、高二5名、中三7名、中二3名)
歴史: 学校創立同時の1929年創部! 歴史ある部なのです。
活動: 月・木。撮影のほか、顧問の先生による講習も。校外撮影会は春・夏・秋・冬の年4回実施! 夏合宿も昨年からはじめました!
機材: デジタル一眼レフ&一眼カメラ10台、フィルム一眼レフカメラ1台、レンズ多数、プリンター1台、三脚11台など。
部費: 年予算8万円で印画紙やインクをまかないます。

うっとりな撮影環境と熱意の先生!

見晴らしの良い高台にある学校なので、春の桜、秋の紅葉など、撮りたい景色がたくさん。さらに顧問就任3年目の野口先生は写真の大ベテランで、写真の楽しさを部員さんにも伝えたいと、活動にいろんなアイデアを採り入れている様子。そんなこんなで部員さんも、「自然の形をよ〜くみて撮る」観察派から、「人が撮らない構図や被写体を探す」個性派まで、楽しみな“原石”がザクザクです!!

顧問の野口先生は小学時代から写真好き!!

- 高校時代は自宅の押し入れを暗室に!
- ニッコールクラブ城北支部の副部長!
- 部内の講習用テキストは、ニコンイメージングWEBサイトなどを参考にしようです。お役に立てて嬉しい!



人の目を引くおもしろ写真も!!

せっかく仲間と撮るんだから! ということで、みんなで協力して、人の目を惹き付ける面白い、珍しい写真にも挑戦。万華鏡を通して撮ったり、写真実験家・上原ゼンジンさん考案の「宙玉レンズ」をヒントにした撮影実験なども。たとえば文化祭で、そうしたおもしろ写真も展示したら、お客さん増えるかも? などなど、いろんな方向の作品づくりを垣間見て、かなり楽しみになってまいりました。今後ともぜひよろしくね!!

一眼レフだと、由比ヶ浜の夜光虫もしっかり撮れるからすごい。

自分や人の作品を「きれいだな」と思う時が楽しい。

いま、フラッシュと長時間露光を追求しています。



東西南北 全方位を撮り歩く!

有名私立校なので、部員さんの自宅は近隣県を含めて広範囲。それを「地の利」ととらえ、撮影会や合宿では東・西・南・北いろんな方面へ出かけます。

撮影会・合宿の行き先!!



河口湖、山中湖など野辺山高原



湘南・江ノ島横浜



昭和記念公園 神代植物公園 ひまわりガーデン



新宿御苑 しがわ水族館



フィルムカメラで花を撮ります。質感がすてき!



関戸さん撮影

構図を模索します。壁と自販機のスキマからとか(笑)



大橋くん撮影

基礎をだんだん応用して、上達する感じがいい!



椎名さん撮影

ポスターみたいなシンプルな写真を目指したい。



坂本さん撮影

排水溝、窓から差し込む光。幾何学的な形に惹かれます。



岸さん撮影

花・水・空... いろんな「きれいな」を探しています。



全さん撮影

ズームアップする時の「割ってる」感じがいい!



「ガンバシ写真部」に登場しませんか?

このコーナーに出てくれる学校を大募集!! 編集部が学校に行って取材します。

ご応募は、メールで編集部まで topeye@nikon.com

井の頭自然文化園のカフェンがお気に入り。



部室にはカメラや撮影小物もたくさん。

静かで寂しい、街の灯りが好きです。



有泉さん撮影



鶴田さん撮影

直感でレンズを向け、とにかくたたくさん撮ります!

静止画でも「動き」が表現できるのが面白い!

写真って自分の「好み」や「クセ」を教えてくれますよね。

撮った時の気持ちまで記録できるのが好き!



中学生だって、こだわりあり!!

2、3歩動くと風景が変わるから、写真って面白い!



豊田さん撮影

テーマ別に撮り方追求!

第16回 TopEye デジタル写真教室

身近にある、いろんな被写体をテーマに撮影の技法やアイデアを紹介するよ。
季節に応じたテーマを取り上げていくから、ぜひ試してみてね!

登場人物
サッチャン
音響先生
エイ太くん

今月のテーマは… 「動物園」で野生動物をバッチリとらえる!

春の撮影会の季節! みんなで出かけるのうってつけの撮影場所が動物園だよ。
というわけで今回は、動物園で野生動物を撮る際の基本的なコツについて。

今回の作例



[撮影データ]
●使用カメラ:Nikon D500 (DXフォーマット) ●使用レンズ:70-300mm(焦点距離:165mm) ●ISOオート(400) ●露出モード:マニュアル(1/500, f/4.5)
●ホワイトバランス:晴天 ●ピクチャーコントロール:スタンダード ●AFモード:AF-C、72点ダイナミックAF

動物園で撮る時に意外と困るのが、オリや金網の写り込み。でも大丈夫。レンズと設定を選べば、こんな風に「まるで檻がないような」写真が撮れるのだ!

吠える瞬間! こういうの撮りたいなあ。

表現のポイント!!

- Point
- 1 オリや金網がジャマ! → オリに最大限「接近」して「望遠」で撮る!
 - 2 露出モードは何がいい? → 「Aオート」で背景をうまくボカす!
 - 3 明るさの変化に対応するには? → 「ISO感度自動制御」が便利!
 - 4 ピント合わせもかんじん… → 「AF-Cモード」& 「ダイナミックAF」を活用!

AF-P DX NIKKOR 70-300mm (FXフォーマットでは105-450mmに相当)



望遠レンズを使ってみよう!
今回の作例は、この望遠レンズを使用した。望遠レンズは、被写体の間近に寄ったような写真が撮れるのももちろん、右ページの「How to 1」で紹介する「もう一つの特性」があるんだ。

How to

「望遠」+「接近」で、金網が消える?!

動物の種類によっては、オリなどの金網越しに撮ることになるのは避けられない。でも実は大丈夫。金網ギリギリの間近に立ってカメラを構え、レンズの焦点距離を望遠側にすると、あら不思議。金網が見えなくなってしまうのだ! 望遠レンズの「被写界深度が浅い(ピントの合う距離の範囲が狭い)」という特性を利用したワザだよ。



NG
金網から数メートル離れて撮影。一番手前にある金網にピントが合ってしまった…。



OK
金網の間近に立ち、望遠側で撮影。よ〜く見ると金網の線がぼんやり見えるけど、全く気にならない!

How to

露出モードは「Aオート」がおすすめ!

今回は露出モードを「A(絞り優先)オート」にして、F値を小さめ(絞りを開く側)にした。また、素早く動き回る動物など、「S(シャッタースピード優先)オート」が有効な場合もある。いろいろ試してみてね。

「Aオート」→「F値小さめ」の利点!

(絞りを開く)

メリット 1
背景ボケをより強調して、被写体をグッと目立たせることができる。

メリット 2
レンズに入る光が多くなるのでシャッタースピードを速くでき、被写体ブレが少なくなる。

How to

晴天の日の撮影は「ISO感度自動制御」が便利!

屋外撮影のやっかさは、光量が変わりやすいこと。動物園でも、動物が日陰や日なたに歩いて行ったり、急に雲が日光を遮って暗くなることもある。そこで、何度か紹介した「ISO感度自動制御」を今回も使ってみよう。

▶ 「第13回」(2017年10月号)、「第14回」(2017年12月号)を見てね!

ISO感度自動制御機能の使い方

カメラの設定メニューで「ISO感度設定」を選ぶ

- 基準のISO感度を設定。日中の屋外なら400程度が適当。
- 「感度自動制御」をONにする
- 「制御上限感度」*を調整。日中の屋外は1600程度でOK。
- 「低速限界設定」の数値は「オートの2倍」がオススメ!

(機種によって画面が異なります。)

*ISO感度が高すぎると、画像が荒れてザラついた感じになることがある。「制御上限感度」はあまり大きくしない方が無難だよ。

How to

ピントを「目」に合わせ続ける秘策アリ!

人物や動物の写真は、ピントを「手前の目」に合わせるのが鉄則!でも動物は急に動いたりするので、普通のオートフォーカスだと追いつかないことも。そんな時は「AF-Cモード」と「ダイナミックAF」が便利!

AF-C (コンティニューアス) モード
シャッターを半押ししている間、被写体との距離が変わっても常にピントを合わせ続ける機能。
▶ 「第13回」(2017年10月号)、「第14回」(2017年12月号)を見てね!

ダイナミックAF
被写体のピント情報を複数のフォーカスポイントで計測し、速く複雑な動きの被写体にも着実にピントを合わせる機能。
▶ 「第13回」(2017年10月号)を見てね!



NG
普通のオートフォーカスで撮影。うむむ…ピントが微妙にズレて、少し手前に合っている。これだと迫力半減だ。



OK
AF-CモードとダイナミックAFを使用。目にピントをぴったり合わせた。これで表情が活きてくるよ。

CAUTION 動物園撮影の注意事項! CAUTION

- 周囲の人に配慮を!
ひとつのオリの前に長時間陣取って撮影するのは、他の見物客に迷惑だ。三脚もなるべく使わず、撮影が終わったらすぐ他の人に場所を譲ろう。
- 特に小さな子に注意!
動物園には子供たちもたくさん来る。カメラを肩にかけたとき、レンズがちょうど子供の顔のあたりに来たりする。ぶつからないように気をつけよう。
- フラッシュ類は使わない!
動物たちはデリケートだ。フラッシュなどの強い光に反応しておびえたり、興奮して暴れる恐れもあるので、自然光で撮るのが鉄則!

次回は、夏にふさわしくホタル、星などに挑戦。「長時間露光」がキーワード!



講師/高藤 勝則



2017 FISサマーグランプリジャンプ 白馬大会にて

高校卒業後、冬季五輪前のカナダ・カルガリーに留学しました。当時、父が「今後は外国語が必要」と行かせてくれたんです。その後は、同じく五輪前のスペイン・バルセロナへ。習得した2つの外国語は、海外を撮り歩く仕事にとても役立っています。

現地では父の仕事仲間にお世話になり、各国のスポーツを見て回りました。プロサッカーにツール・ド・フランス…。すっかり魅了され、「これで稼げるようになりたい」と、独学で撮影の練習を始めました。「教科書」は現地のスポーツ新聞や雑誌。表紙を飾るような写真は、光の使い方やアングル、背景など、目を留めさせる工夫があります。「どう撮ったのか」を考えて試行錯誤を繰り返し、現場に行ったらカメラ位置を確かめたりもしました。

屋外撮影は、気候との戦いです。今年の平昌五輪では厳寒の中、シャッターを押す指先の感覚がなくなって困りました。逆に、夏の中東やアメリカ内陸部などは熱

中症の危険も。また、治安が良くない国もあり、安全な国でも試合展開によっては観客席からモノが投げられたり(笑)。自分の体と機材を守る対策が必要です。

試合や選手だけでなく、街や人の様子も撮ります。人々がピンク色のスポーツ新聞を持って歩くイタリアの街。ロンドンのパブはテレビでサッカー中継を流し、試合中は人がはみ出すほど混み合う。スポーツがお国柄や生活と結びついています。そんな文化を伝えるメディアは日本に少ないので、どんどん発信したいですね。

スポーツ写真は、選手の動きや競技のことを伝えるのが第一。でも、そこに自分の工夫を加え、記憶に残る写真にする。私の撮り方は、若い頃ヨーロッパで自由に撮った経験があってこそ。あの頃に、人のやらないことを試す「遊び心」が育ったと思います。皆さんも、面白そうな世界にアンテナを張って引き出しを増やし、いろいろなことを試してください。失敗した分だけ、成功に近づけるはずですよ。

岸本 勉

Profile

(きしも・つとむ)
1969年東京生まれ。スポーツフォトエージェンシー フォート・キシモトのスタッフフォトグラファーとして活動した後、2003年に独立し、PICSPORT(ピクスポート)を設立。サッカーW杯は1994年のアメリカ大会から、夏季・冬季オリンピックとともに1992年アルベールビル、バルセロナ大会より世界中のスポーツイベントを撮り続ける。日本スポーツプレス協会(A.J.P.S.)会員/国際スポーツプレス協会(A.I.P.S.)会員。



FRIENDS EYE

読者の皆さんと編集部が一緒につくる、情報コーナー。皆さんの情報提供も待ってるよ!

元気な先輩に出会いたい!

PhotoPhoto OB/OG訪問!

—— キャンパス編 ——

写真を学ぶ先輩に学生生活をインタビュー!



SENPAI file.18 藤原 恒平さん
日本大学芸術学部写真学科 3年

愛知県立津島高等学校OB
「夢がある」: 第174回フォトサロン入選
「ふたりの道」: 「TopEye全国高校生写真サミット2014」高藤勝則賞



「夢がある」



「ふたりの道」

写真にハマったのはどうして?

高校では、頑張っていたフットサルの合間にやるくらいの気持ちで写真部に。でも、あるコンテストで「佳作」だったのが逆に悔しかったり、写真家の言葉に興味を持ったり、「TopEye全国高校生写真サミット」で賞をいただくなどの経験が重なり、写真の存在が大きくなっていきました。

好きな授業は?

「画像処理」です。高校時代にほとんどやらなかったデジタル補正にとっても興味があります。モノクロ写真にフィルターをかけると印象が大きく変化するのが面白い! デジタル写真の可能性について、いろいろ考えるようになりました。



サッカー観戦や街歩き... いろんな機会に撮影しています。

普段の生活の様子は?

休日は、写真展巡りや撮影がやはり多いです。都心の街や江ノ島をよく撮りに行きます。バイト代は写真に消えるし、後期は学祭の準備や山のような課題に忙殺されますが、日々楽しんでます。自炊は好きで、料理アプリを見て凝ったものを作ったりしますよ。

授業以外の写真活動は?

江ノ島水族館近くのカフェの店主と知り合い、写真を展示させていただいています。こんな風に、外部に作品を見てもらう取り組みは今後も計画しています。卒業までには個展をやってみたいですね。



江ノ島水族館は、年間パスポートを買うほどお気に入り!

いま、関心があることは?

高校時代は単写真で勝負していましたが、大学に入って、2~30枚の写真を一したコンセプトで見せるシリーズ写真の奥深さを感じています。撮影を仕事にするかどうかは分かりませんが、写真を通して誰かの心に残ることをしたい、という夢はあります。

では、TopEye読者にメッセージを。

写真は「出会い」をくれる活動です。高校の大会で知り合ったある地方の方を、今も度々訪問したりしています。また、「ものの見方が変わる」楽しさも写真ならではの、いつもの通学路にも、気づかない景色が隠れています。続けるほどに新たな刺激が待っている写真を、全力で楽しんでください!



高校恩師の森岡先生や、ユカイな同期の仲間たちと!

開催しました!!

2/17 TopEye出張 デジタル写真ゼミ

岐阜県関市

会場: 関市まなびセンター・パソコン研修室

岐阜県 4校の生徒さん 15名と、7校の顧問の先生が集まった今回のゼミ。「意図や感動が“伝わる”写真」をテーマに、講座・実習・講評と、盛りだくさんの1日でした!



〈参加校〉
関市立関商工高
県立東濃実業高
県立岐阜各務野高
県立茂高
+
〈顧問の先生方〉
県立大垣東高
県立羽島北高
県立土岐商業高

デジタル写真基礎講座

- 講義内容(一部)
- ◎ステキなボケは「絞り値」次第!
 - ◎テーマに合わせて「露出」を変える!
 - ◎「ホワイトバランス」で夕焼けや雪を美しく!



露出や絞りの話が、勉強になった

屋外で撮影実習



あえて水に入る強者モデルも!



背景をボカして花を撮る!

作品講評



撮った作品に、一言アドバイス!

部で習ったことの復習ができた!

本格写真教室が、あなたの学校にも出張!

ニコンの写真教室「ニコンカレッジ」の講師が皆さんの地元に出張して、プロも実践している撮り方を教えます。

- 講義テーマ例
- デジタルカメラの基本
 - カメラの設定
 - 被写体、テーマ別の撮影ワザ
 - 無料のパソコンソフトで画像仕上げ など

開催ご希望はメールで!
topeye@nikon.com

メールタイトルを「出張デジタル写真ゼミ開講希望」として、ご希望の内容や連絡先などをお書きになり、上記のアドレスへメールしてください。
※後日、編集部から開催ご相談の連絡をいたします。

開講校募集!!

撮影会レポート

2/12 大阪府 6校合同撮影会!!

「TopEye 全国高校生写真サミット2018」の参加校が近隣校に呼びかけて、約30名で合同撮影会を開催!!お散歩日和の1日、大阪の撮影スポットを撮り歩き、それぞれの「本日の自己ベスト写真」で講習会も行いました。こんなステキな交流活動が広がっていくといいですね!

〈参加校〉
帝塚山学院中学校高等学校
府立四條畷高等学校
府立生野高等学校
府立東百舌鳥高等学校
大阪電気通信大学高等学校
府立和泉総合高等学校



四天王寺 人がたくさんにぎやか!



阿倍野の商店街 レトロな店が魅力的!



茶臼山 緑豊かな庭園と公園!



帝塚山学院中高の屋上

小物使って実験撮影も!



写真展レポート

2/17~18 第1回 帝塚山学院中学校高等学校 写真部校外展

「jouer avec l' ombre~光歌わば影踊る~」

会場: 堺市立文化館ギャラリー3階 木造

校外展は初めてという帝塚山学院。記念すべき第1回は、「光と影」をテーマにした作品34点と、受賞作などの個人作品66点を一挙展示!「綺麗な写真に圧倒されました」との感想もいただいたそうです。今後いろいろな場でどんどん発信してくださいね!

今回のテーマを象徴するチラシです!



2/6~3/3

関市立関商工高等学校 写真展

会場: 関商工会議所1階エントランス

毎年、お盆と年度末の年2回写真展を開くという関商工高写真部。図書館や商工会議所を会場とし、地元の新聞でも毎回取り上げられるので、一般の観覧者も多いそうです(励みになるね!)今回は、昨年度後半の受賞作を中心に、20点を展示しました!



モダンな建物の通路にぐるっと展示!

3/16~21

市立川崎総合科学高等学校 写真部校外展

会場: 川崎市中原市民館1階ギャラリー

一昨年、昨年は他校と合同で写真展を行い、今回は初の単独校外展!部員一人ひとりにコーナーを設けて3~4点ずつ、計58点を展示。市民館に来られた方が足を停めて見入り、話をしたりアドバイスをくれたりという、小さな交流が生まれたそうです。



Information

第66回ニッコールフォトコンテスト 第5部『TopEye&Kids』部門

18歳以下限定! 作品募集開始!

昨年新設された「18歳以下限定」部門で、入賞のチャンスも大きく広がっています。あなたもぜひチャレンジ!

2017年度フォトフォトサロンの「TopEye賞」作品もノミネートされます!



今号には応募票付のチラシ同封!!

応募資格 18歳以下の方 (2018年7月末現在)

- 使用機材自由 ●テーマ自由
- 応募点数制限なし

大賞 賞品 10万円相当の写真撮影奨励賞+ D7500レンズキット (18-140mm付)

応募締切 7月10日(火)必着



「TopEye フォトコンテスト」の小林紀晴氏も審査員を務めます。

TopEye配布校 一括応募 制度

部員みんなで応募しよう!

本誌「TopEye」をお届けしている学校は、学校単位で一括応募ができます。(WEB応募は除く) ※詳細はニッコールクラブ事務局 (TEL:03-6718-3018)へお問い合わせください。

詳しくはニコンイメージングのWEBサイトで!

ニッコールフォトコンテスト

検索

注意 TopEye フォトフォトサロンや他のフォトコンテストへの二重応募をされませんようご注意ください。(ノミネートを除く)

第65回 第5部ニッコール大賞 「誰ぞかれ」山本 優花 さん (大阪府立成城高等学校2年:受賞時)



全国の中学・高校写真部の皆さんの力作が集まった、TopEye関連の2つの写真展。今年も無事終了することができました。これからもよろしくお願ひします!



ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1+2 の展示の様子

2017年度 「TopEye フォトフォトサロン」入賞作品展
3/13~3/19 ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1+2
3/29~4/4 ニコンプラザ大阪 THE GALLERY

「TopEye 全国高校生写真サミット2018」優秀作品展
3/13~3/19 ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1+2
4/5~4/11 ニコンプラザ大阪 THE GALLERY

「TopEye」へのお問い合わせはこちらまで。
ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージング ジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com
TEL:03-6718-3020